

CSRマネジメント

2004年7月、大和証券グループ本社にCSR室を設置しました。これまでの施策を発展させ、グループ全体にCSRを深く根付かせることを目指しています。

CSR推進体制

2004年7月、大和証券グループ本社にグループ全体のCSR活動を推進するCSR室を設置しました。CSR室は、グループ本社内で開催されている部室長会議やグループで横断的に開催されている各部の連絡会等に随時参加し、グループのCSR活動報告やCSRに関する課題提起などを行なっています。また、グループ全体の環境マネジメントシステムの

精度向上を目的とした「環境マネジメント連絡会」や、現在準備中の「大和証券グループ行動指針（仮称）」策定のための「行動指針連絡会」などの事務局機能を担っています。

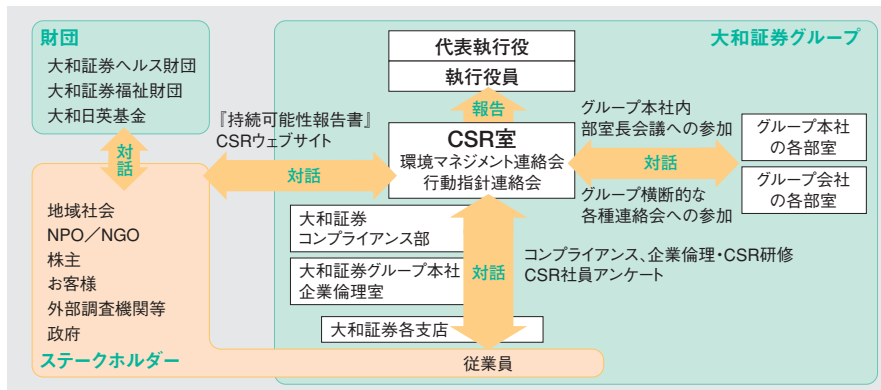
CSR室の活動

CSR室は主に、大和証券グループのCSR活動に関する企画・立案および推進、持続可能性報告書（サステナビリティ・レポート）の

作成や外部からの各種調査への対応、NPO／NGOなど、外部ステークホルダーとのコミュニケーションを行なっています。

また、企業市民活動の責任部署として、大和証券ヘルス財団、大和証券福祉財団、大和日英基金の3財団に対するグループの窓口としての機能や、企業市民活動に関する教育、研修および社内イントラネットを通じたグループ従業員へのボランティア情報の提供などを行なっています。

■大和証券グループのCSR推進体制（2005年6月30日現在）

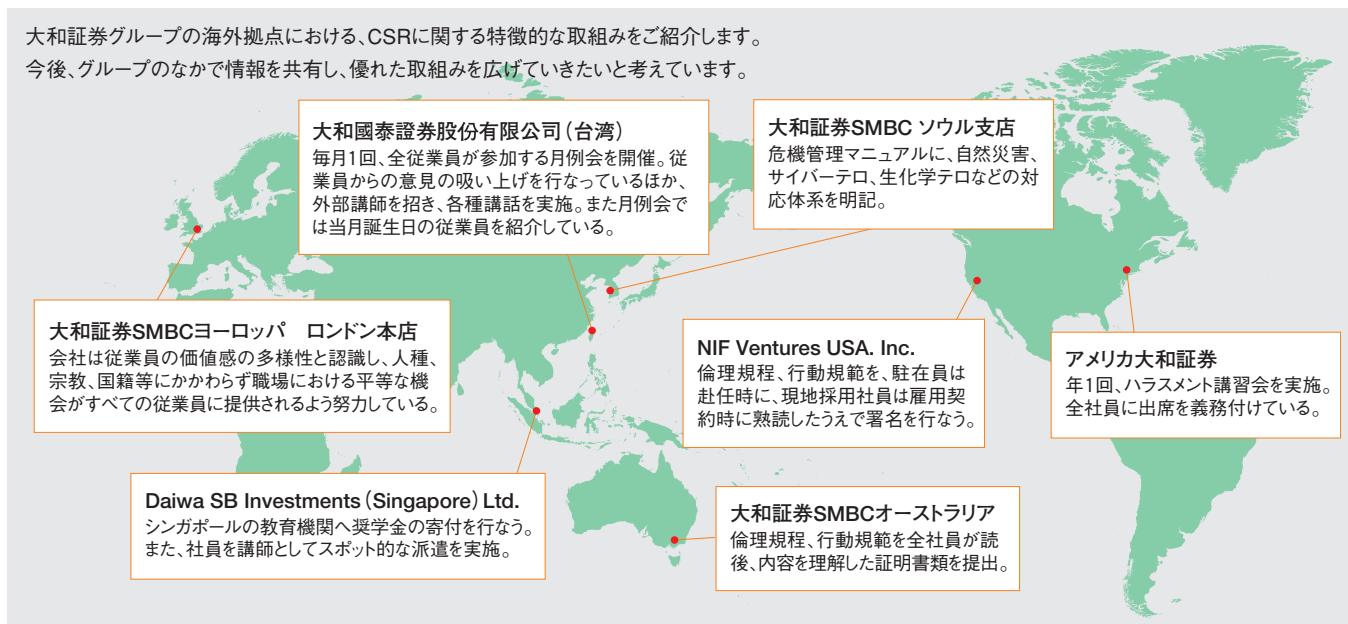


今後の課題と2005年度の目標

2005年5月より、グループ従業員のCSRに対する理解向上を目的とした「コンプライアンス、企業倫理・CSR研修」を大和証券の各支店で実施しており、2006年3月末までに40か店、2005年度を含めた3年間で全店舗（2005年3月末現在、120か店）での実施を目指します。また、今後対象をグループ全体に広げ、より多くの従業員のCSRに対する理解を深めていきます。

■海外拠点におけるCSR活動

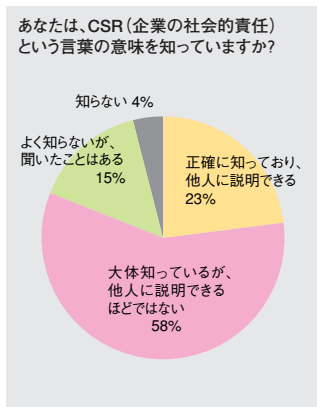
大和証券グループの海外拠点における、CSRに関する特徴的な取組みをご紹介します。今後、グループのなかで情報を共有し、優れた取組みを広げていきたいと考えています。



2005年5月、グループ行動指針制定に対する従業員の意識調査、およびCSRにかかわる意識・知識の従業員への浸透度把握を目的として、大和証券グループ全従業員（約13,000人）を対象にCSRアンケートを実施しました。ここではアンケートの結果の一部をご紹介します。大和証券グループでは、これらの結果を真摯に受け止め、従業員が主体的に参加、納得する形でCSR活動をすすめています。

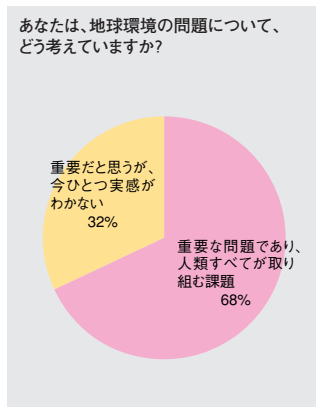
「CSR」という言葉の意味を知っている・・・81%

言葉の意味を知っているかについてきいたところ、「CSR」と「SRI」はそれぞれ81%、75%とほぼ同水準でしたが、「サステナビリティ」は59%と若干認知度が低くなっていました。今後SRIが日本で普及すると思うかについては、普及すると思う人が75%で、SRIの言葉の意味を知っている75%と同じ比率でした。



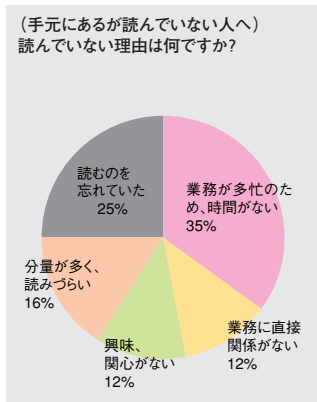
「地球環境」について重要な問題であると考えている・・・100%

地球環境問題に対する意識についてきいたところ、「重要な問題であり、人類すべてが取り組む課題」68%、「重要だと思うが、今ひとつ実感がわかない」32%となり、あわせて100%の人が現在の地球環境に問題意識を持っていました。



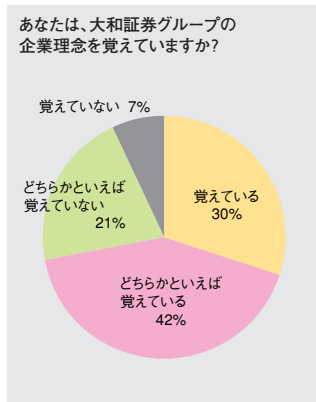
『持続可能性報告書2004』を読んでいない・・・43%

『持続可能性報告書2004』を読んでいるかどうかについてきいたところ、「手元にあるが読んでいない」11%、「まったく読んでおらず手元にもない」32%と、あわせて43%の人が読んでいませんでした。読んでいない理由としては「業務が多忙のため時間がない」が35%で最も多く、次に「読むのを忘れていた」の25%が続きました。



大和証券グループの企業理念を覚えている・・・72%

グループ企業理念を覚えている人は72%で、4人に1人が覚えていない状況でした。また、大和証券グループのCSRは何よりもまずグループ企業理念を誠実に実行することである、と思う人は92%でしたが、職場でグループ企業理念やブランド・ステートメントにしたがった行動ができると思う人は81%と低くなっていました。



CSR活動を定着させるためには、CSRに関する社員の研修を実施・強化する・・・17%

大和証券グループのCSR活動を定着させるための取組みについてきいたところ、意見の多いものでは「CSRに関する社員の研修を実施、強化する」17%、「グループ行動指針を制定し、判断・行動の具体的基準・規範を明確にする」12%、「CSRに関する管理職以上の研修を実施、強化する」11%、「職場での話し合いや研修を実施、強化する」10%となりました。

大和証券グループのCSR活動を定着させるためには、今後どのような取組みをすればよいと思いますか？	
CSRに関する社員の研修を実施、強化する	17%
グループ行動指針を制定し、判断・行動の具体的基準・規範を明確にする	12%
CSRに関する管理職以上の研修を実施、強化する	11%
職場での話し合いや研修を実施、強化する	10%
経営トップがCSR活動について繰り返しコメントする	9%
CSR説明冊子（簡易版）を配布する	8%
人事評価にCSRや倫理評価を反映する	8%
CSR活動が新聞・雑誌等で取り上げられるようにする	7%
サテライト放送で説明する	6%
ステークホルダー（利害関係者）の意見を経営に取り入れる仕組みをつくる	5%
不正行為への罰則を強化する	4%
CSR説明ビデオを配布する	2%